



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日 東

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所
 コード番号 4975 URL <http://www.jcu-i.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 新 隆徳 (TEL) 03-6895-7001
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,357	12.9	770	78.5	768	34.7	471	48.5
26年3月期第1四半期	3,858	22.0	431	△8.1	570	16.3	317	8.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 294百万円(△50.3%) 26年3月期第1四半期 592百万円(31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	133.78	—
26年3月期第1四半期	90.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	16,602	10,120	60.7
26年3月期	17,133	10,004	58.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,078百万円 26年3月期 9,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	16.1	1,700	52.5	1,700	33.0	1,100	42.2	311.87
通期	18,500	12.3	3,600	32.1	3,600	21.4	2,400	36.1	680.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	3,527,400株	26年3月期	3,527,400株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	233株	26年3月期	233株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	3,527,167株	26年3月期1Q	3,527,265株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気が緩やかに拡大し、中国景気はインフレ・住宅価格の上昇が一服し概ね順調に推移し、また欧州景気も持ち直しております。一方で、米国の利上げ見通しやウクライナ、イラクなど局所的危機、中国の理財商品やシャドーバンキングの金融不安、タイの国内混乱継続等世界経済の下押しリスク要因があります。また、日本経済におきましては、アベノミクス効果による景気回復やインフレが進行しつつありますが、日銀の量的緩和終了や消費増税等の先行きに不透明感もあります。

このような状況のもと、当社グループの業績は、海外における薬品の販売が好調に推移したことにより、売上高は4,357百万円（前年同期比12.9%増）となりました。この結果、営業利益は770百万円（前年同期比78.5%増）、経常利益は768百万円（前年同期比34.7%増）、四半期純利益は471百万円（前年同期比48.5%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が好調に推移し、中国では、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移しました。この結果、売上高は3,373百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は、1,109百万円（前年同期比62.7%増）と前年を大きく上回りました。

(装置事業)

装置事業におきましては、一部の顧客において設備投資に前向きな動きが見られ始めたものの、売上高は833百万円（前年同期比13.2%減）となりました。この結果、セグメント利益は41百万円（前年同期比44.4%減）と前年を下回りました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置の販売は前年を下回ったものの、太陽光発電設備の売上計上により、売上高は150百万円（前年同期比4.1%増）となりました。この結果、セグメント損失は113百万円（前年同期はセグメント損失126百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ531百万円（3.1%）減少し、16,602百万円となりました。

流動資産は、主に借入金の返済や配当金の支払による現金及び預金の減少により870百万円（7.2%）減少し、11,178百万円となりました。

固定資産は、主に北海道滝川市の太陽光発電設備建設や韓国、ベトナムの新工場建設に伴う建設仮勘定の増加により、338百万円（6.7%）増加し、5,423百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ647百万円（9.1%）減少し、6,482百万円となりました。

流動負債は、主に借入返済による短期借入金の減少や賞与支給に伴う賞与引当金の減少により479百万円（9.4%）減少し、4,615百万円となりました。

固定負債は、主に借入返済による長期借入金の減少により168百万円（8.3%）減少し、1,866百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べ115百万円（1.2%）増加し、10,120百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の結果を踏まえ、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成26年8月4日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,993,948	4,059,220
受取手形及び売掛金	4,527,949	4,757,886
商品及び製品	881,318	914,103
仕掛品	62,845	61,543
原材料及び貯蔵品	329,282	341,483
繰延税金資産	339,086	251,693
その他	1,010,465	899,415
貸倒引当金	△95,314	△106,409
流動資産合計	12,049,580	11,178,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,649,283	1,630,451
機械装置及び運搬具（純額）	236,091	221,391
工具、器具及び備品（純額）	346,947	390,930
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	142,333	137,676
建設仮勘定	341,030	608,001
有形固定資産合計	3,238,509	3,511,275
無形固定資産		
のれん	93,598	84,166
その他	43,906	43,403
無形固定資産合計	137,505	127,570
投資その他の資産		
投資有価証券	1,296,283	1,326,180
繰延税金資産	90,533	94,102
その他	321,513	364,130
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,708,330	1,784,413
固定資産合計	5,084,345	5,423,259
資産合計	17,133,925	16,602,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,145,179	1,967,191
短期借入金	273,049	148,348
1年内返済予定の長期借入金	521,004	502,008
リース債務	14,533	14,578
未払法人税等	592,744	434,781
賞与引当金	282,308	169,319
工事損失引当金	13,962	13,962
前受金	341,696	432,338
繰延税金負債	24,378	32,626
その他	886,249	900,462
流動負債合計	5,095,106	4,615,616
固定負債		
長期借入金	861,227	665,454
リース債務	162,590	158,502
退職給付に係る負債	732,704	763,657
資産除去債務	180,172	181,000
その他	97,871	97,871
固定負債合計	2,034,566	1,866,486
負債合計	7,129,672	6,482,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,176,255
資本剰余金	1,128,904	1,128,904
利益剰余金	6,785,486	7,063,356
自己株式	△714	△714
株主資本合計	9,089,931	9,367,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,814	149,105
為替換算調整勘定	759,494	561,552
その他の包括利益累計額合計	891,309	710,657
少数株主持分	23,013	41,633
純資産合計	10,004,253	10,120,093
負債純資産合計	17,133,925	16,602,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,858,717	4,357,493
売上原価	2,038,365	1,948,823
売上総利益	1,820,351	2,408,670
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	481,360	538,646
賞与	155,536	158,117
退職給付費用	30,516	33,256
減価償却費	57,597	61,160
貸倒引当金繰入額	-	15,506
その他	663,871	831,625
販売費及び一般管理費合計	1,388,882	1,638,313
営業利益	431,469	770,356
営業外収益		
受取利息	6,004	6,364
受取配当金	18,529	18,309
為替差益	115,710	-
持分法による投資利益	-	26
助成金収入	293	-
貸倒引当金戻入額	5,322	-
その他	2,527	2,145
営業外収益合計	148,386	26,844
営業外費用		
支払利息	7,469	7,038
為替差損	-	20,778
持分法による投資損失	102	-
その他	1,408	629
営業外費用合計	8,980	28,446
経常利益	570,875	768,754
特別利益		
固定資産売却益	531	617
特別利益合計	531	617
特別損失		
固定資産売却損	63	-
固定資産除却損	102	17
持分変動損失	2,906	-
投資有価証券評価損	-	467
特別損失合計	3,072	484
税金等調整前四半期純利益	568,334	768,887
法人税、住民税及び事業税	90,104	214,073
法人税等調整額	165,994	78,099
法人税等合計	256,098	292,173
少数株主損益調整前四半期純利益	312,235	476,714
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,433	4,849
四半期純利益	317,669	471,864

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	312,235	476,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,521	17,290
為替換算調整勘定	251,891	△199,622
持分法適用会社に対する持分相当額	737	48
その他の包括利益合計	280,151	△182,283
四半期包括利益	592,387	294,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,749	291,213
少数株主に係る四半期包括利益	△4,362	3,217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,753,969	960,138	144,608	3,858,717	—	3,858,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	269	269	△269	—
計	2,753,969	960,138	144,878	3,858,986	△269	3,858,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	682,171	74,199	△126,930	629,440	△197,971	431,469

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,042
全社費用※	△199,013
合計	△197,971

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,373,243	833,673	150,575	4,357,493	—	4,357,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	280	280	△280	—
計	3,373,243	833,673	150,856	4,357,774	△280	4,357,493
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,109,952	41,248	△113,739	1,037,462	△267,106	770,356

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,392
全社費用※	△268,498
合計	△267,106

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

銀座鈴蘭堂化粧品股份有限公司へ増資したことに伴い、「新規事業」において、のれんが発生しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、11,542千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。